

## 総会

配布：一般

2015年6月25日

### 第69会期

議事日程議題 13(a)

#### 2015年6月3日に総会により採択された決議

[主要委員会への付託なし (A/69/L.72)]

#### 69/282. 世界統計デー

総会は、

2010年10月20日が、「公式統計に関する多くの達成を祝う」という統一テーマの下で世界統計デーとして指定された、010年6月3日の総会決議 64/267 を想起し、

統計委員会が、世界統計デーとして2015年10月20日を祝うという提案に賛成した、その第44会期の同委員会の決定 45/113<sup>1</sup>、および準備に関する同委員会への事務総長報告書<sup>2</sup>をまた想起し、

国際年の宣言に関する1998年12月15日の53/199と2006年12月20日の61/185の総会諸決議、そして国際年と記念祭に関する1980年7月25日の経済社会理事会決議1980/67、特にその宣言のための合意された基準についての添付文書の第1から10項、並びに国際デーまたは国際年は、その準備および資金調達のための基本取極がなされる前に宣言されてはならないことを述べている第13と14項を再確認し、

---

<sup>1</sup> 経済社会理事会公式記録、2014年、補遺 No.4 (E/2014/24)、第I章. B.

<sup>2</sup> E/CN.3/2015/28.

公式統計の長い歴史および専門機関の統計活動と調整し、事務局の中央統計サービスを開発し、統計状況の収集、分析および普及に関する一般問題について国際連合の機関に助言しそして一般的な統計および統計手法の改善を促進しながら、国の統計の開発を促進しその比較可能性を改善することを任務とする、統計委員会の 1947 年の創設以来国際連合により果たされた促進する役割を認識し、

国の進展を計測する信頼に足るまた時宜を得た統計や指標を作り出す持続可能な国の統計能力の基本的重要性を認め、

持続可能な開発における分析と情報に基づく政策意思決定の質の高い公式統計情報の決定的な役割を念頭に置きつつ、

経済社会理事会が、加盟国、国際連合制度、国際機関、資金供与諸国および機構に対し、とりわけ途上国の、国の統計能力の構築と強化における国の取組を支援することを求めた、「統計能力の強化」という表題の付いた、2006 年 7 月 24 日の経済社会理事会決議 2006/6 を想起し、

総会が、公式統計における法典化と基本的価値の促進における画期的な出来事の、公式統計の基本原則に賛成した、2014 年 1 月 29 日の総会決議 68/261 もまた想起し、

2010 年 10 月 20 日に開催された、第一回世界統計デーが、130 以上の加盟国と少なくとも 40 の国際的なまた地域的な機構並びに団体が計画した活動で、圧倒的に成功だったことに留意し、

2015 年が、代数学の形態としての論理原則の適用に関する研究が、近代の計算機科学を支えそして今日の代数の形に名前がついている、ジョージ・ブールの生誕 200 年であることもまた留意し、

幾つかの加盟国や地域が、月、週、日にちまたは催し物の指定など、様々な国や地域の活動を通して公式統計を既に祝っていることを更に留意し、そして国際連合の後援の下で、そのような催し物を調整する支援や意思を歓迎し、

1. 「優れたデータ、より良い生活」という共通テーマのもで、第二回世界統計デーとして 2015 年 10 月 20 日を指定することを決定する。

2. 5 年ごとに、10 月 20 日に世界統計デーを祝うこともまた決定する。

3. 全ての加盟国、国際連合専門機関の加盟国、国際連合制度の諸機関およびその他の国際的なまた地域的機構、並びに研究機関、メディアおよび公式統計の全ての制作者や使用者のような非政府機関を含む、市民社会に対し、適切なやり方で、政界統計デーを祝うことを招請する。

4. 本決議の履行から生じる可能性のある全ての活動の経費は、自発的拠出金から賄われるものとすることを強調する。

5. 事務総長に対し、2015 年の国際連合世界統計デーの儀式のために必要な措置を講じることとして全ての加盟国、国際連合専門機関の加盟国および国際連合諸機関の注意を本決議に向けさせることを要請する。

第 92 回本会議

2015 年 6 月 3 日